

## 《 競 技 注 意 事 項 》

### 1. 規則について

本大会は、2017年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

### 2. 競技場について

競技場が開門してない場合は、絶対に場内に入らないこと。開門時間は3日間共に7:30とする。（予定）

競技場は、全天候舗装である。トラック走路の厚さは13mm、フィールド助走路の厚さは18mmである。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。但し、走高跳、やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクのピンの本数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、競技規則第143条を厳守すること。

### 3. 練習について

練習は、競技役員の手配に従って、補助競技場で行うこと。公園内の練習は禁止。練習は大会参加者に限る。

最初の競技開始20分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1～3レーンは周回練習、5～8レーンはスピード練習、ただし、ホームストレートの7・8レーンはハードル練習とし、4レーンにコーンを設置する。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと

フィールド競技の練習は、招集完了時刻を過ぎてから競技場内で行うことができる。特に投てき練習は、役員の手配に従って、試技順に競技場内で行い、競技場以外のいかなる場所でも投てき練習は禁止する。

### 4. 招集について

招集所は100mスタート地点後方付近に設ける。招集時刻は、競技日程に記載されたとおりとする。なお、招集時はナンバーカード、スパイクピンの点検を受ける。

2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が招集の際、招集所の競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入し提出する。

招集に遅れた者は、欠場とみなし出場を認めない。

※棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。

### 5. 欠場について

やむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所競技者係に提出すること。

（「欠場届」は招集所で配付する。）

### 6. 入退場について

競技役員の手配に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心掛けること。

### 7. ナンバーカードについて

ナンバーカード（有料）は、主催者が用意したままの状態（縦20cm、横24cm）で使用し、安全ピンは各自で用意すること。走高跳、棒高跳では、ナンバーカードを背または胸につけるだけでもよい。

トラック競技では、招集の際に腰ナンバー標識を受け取り、競技終了直後フィニッシュ地点で返却する。

腰ナンバー標識は、右腰やや後方につけること。

3000m・5000mは、招集の際に特別ナンバーカードを受け取り、競技終了直後フィニッシュ地点で返却する。

### 8. トラック競技について

トラック競技の予選の組・走路順は主催者が抽選し、プログラムに記載する。決勝の走路順は本部で抽選し、招集所に掲示する。トラック競技は、すべて電気計時とする。

トラック競技のスタートの合図は、イングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。

決勝進出者の同タイム者は、写真を細部（1/1000秒）まで読み取り優劣を判定し、同タイムの場合は抽選とする。

競技運営上、次の制限タイムを設定する。（残り1週の通過タイム）

記録会男子 5000m（19分以内）

記録会女子 3000m（12分以内）

成年女子/少年女子共通5000mW（35分以内）

9. リレー競技について

リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙1部を招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。(リレーオーダー用紙提出は、招集所で配付する。)

リレー競技においては、同一チームの競技者は、同一のユニフォームを着用すること。

10. フィールド競技について

フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順番に従い行う。走高跳・棒高跳については、記録会の長さを競う競技の試技は3回試技とする。

跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。(荒天の場合は、別途指示する。)

種目	練習	上げ方	
成年男子走高跳	1m80～	1m85 1m90 1m95 2m00 2m05 2m10	以後3cm
成年/少年A女子 共通走高跳	1m40～	1m45 1m50 1m55 1m60	以後3cm
成年女子棒高跳	2m20～	2m30 2m40 2m50～3m00(10cm) 3m05 3m10	以後5cm
少年女子共通棒高跳			
記録会男子走高跳A	1m70～	1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 2m00	以後3cm
記録会男子走高跳B	1m45～	1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 1m85	以後3cm
記録会男子棒高跳A	3m90～	4m00 4m10 4m20～5m00(10cm) 5m05 5m10	以後5cm
記録会男子棒高跳B	2m90～	3m00 3m10 3m20～4m20(10cm) 4m25 4m30	以後5cm
記録会女子走高跳A	1m15～	1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50	以後3cm
記録会女子走高跳B	1m35～	1m40 1m45 1m50 1m55 1m60	以後3cm

第1位決定の為のバーの上下の範囲は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

※走幅跳の助走路は、(A)・(C)はトラック側、(B)・(D)はスタンド側とする。

※記録会男子三段跳の踏切板は、(A)は砂場より12m00、(B)は11m00、(C)(D)は10m00に設置する。

※女子三段跳の踏切板の位置は、10m00に設置する。

11. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意する。但し、投擲器具は各自持参したものを、各競技開始80～60分前までに器具庫で検査を受けて使用することができる。また、棒高跳び用のポールは、競技場所で跳躍審判の検査を受ける。

12. 抗議について

抗議は競技規則146条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は、競技者に代わる責任者が抗議申立書と預託金10,000円を総務に提出する。(正式アナウンス後30分以内。同一日に次のラウンドが行われる種目は15分以内とする。)

13. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(競技規則第144条)

14. その他（競技方法について）

- ・次の種目は競技運営上、複数の種別を同時刻に行う。

成年/少年女子A 共通走高跳・記録会女子走高跳A	少年男子B 砲丸投・少年女子B 砲丸投
成年男子走幅跳・少年男子B走幅跳・少年女子B 走幅跳	成年男子400mH・記録会男子400mH
成年女子三段跳・少年女子共通三段跳	成年男子やり投げ・記録会男子やり投げ
成年女子棒高跳・少年女子共通棒高跳	成年女子やり投げ・記録会女子やり投げ

成年女子/少年A女子共通800m・5000mW・走高跳はそれぞれ同一種目として同時に行う。

- ・少年男子共通110mJHのハードルの高さは、0.991m、インターバルは9.14mとする。
- ・少年女子B100mHのハードルの高さは0.762m、インターバルは8.5mとする。
- ・少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.0kgとする。
- ・少年女子B砲丸投の砲丸の重さは、4.0kgとする。

15. 注意事項

- ・競技場及び競技順序を確認すること。
- ・プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- ・**テント、シートの設置は競技場内のみ可となります。駐車場や公園内の設置は禁止です。**
- ・使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、自分たちで持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。 ※帰宅途中に捨てていくことはマナー違反なので厳に慎むこと。
- ・更衣室は、更衣のみに使用すること。各団体の控室のように使用しないこと。
- ・正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- ・応援は、スタンド席で行う。役員・選手以外のトラック・フィールドへの立ち入りを禁ずる。  
**※最前列では、立っての応援は禁止します。**
- ・貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- ・全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。